

La Vida de Santo Domingo de Silos II

Translated by Tsuyomasa Ota

Abstract

Berceo's this work is the longest of his Lives of Saints written during the Visigothic epoch. The source is Grimald's Latin prose work, *Vita Sancti Dominci* and it is supposed that one of the purposes of this writing is the propaganda of this monastery at the behest of the monks there to attract more donations and pilgrims.

This monastery is also famous for its *Glosas Silenses*. The writer, Gonzalo de Berceo, was a priest and hermit, and founder of the benedictine monastery which bears his name. He lived from 1198? to 1265?

This work is written in the erudite form of *cuaderna vía* (four-fold way). Its style has been called *mester de clerecía* (scholar's art) as compared with *mester de juglaría* (minstrels' art).

This time translation is made from the strophe 201 to 400.

シロスの聖ドミンゴ（ドミニコ）の生涯Ⅱ

ゴンサロ・デ・ベルセオ作 太田強正訳

聖ドミンゴはドミニコ会の創設者でありアルビジョア十字軍の時代に教皇庁の特使となって南仏アルビ派異端の説得に当たった人物である。

作者ゴンサロ・デ・ベルセオは西ゴート支配下に現在の Rioja 自治州 Logroño 県の Berceo 村に 1200 年の数年前に生まれ「教養派文学」(Mester de clerecía) の詩人として多くの作品を残した。これは中世スペインの主に聖職者による文学の流派で、読み書きのできない吟遊詩人(juglares) による mester de juglaría と対をなすものである。

この作品の出所は San Millán 修道院の修道士 Grimaldo によってラテン語で書かれた散文 Vita Sancti Dominici である。

この舞台となった修道院は San Millán (474-574)、ラテン語で Sanctus Aemilianus によって建てられたもので、ここで 10 世紀中葉にスペイン語の最初期の記録である Glosas Emilianenses (サン・ミリャン註解) が編まれた。彼は自分の建てたベネディクト会の修道院の司祭であり隠者でもあった。

今回は第 201 連から 400 連までを掲載する。訳は言葉が違うので韻を踏ませることはできなかったが各行ごとに付けた。そのため日本語として通るように原文にない接続詞などを補わなければならない箇所があった。

本稿は BIBLIOTECA CASTRO の OBRAS COMPLETAS GONZALO DE BERCEO によるが英訳も参考にした。

- 201 王は上手に臣下たちと話しました
そして貴族たちや知恵者たちとも
《聞いてくれ》、と彼は言いました、《友たちよ二、三の言葉を
私の言わんとする事に心を開いてくれ
- 202 私たちは皆分かっている、知れ渡った事だから
シロスの教会がどんなにさびれているか
あんなに大きな施設があんなに貧しくなって
そこでは三人の修道士がやっと生活できる状態です
- 203 この事は皆私たちの罪から来ている
というのは私たちは罪人で悔い改めないから
その事には全く私たちの頭は回らない
この事において私たちはひどく間違っていると知りなさい
- 204 王国は修道院に支えられている
というのは昼も夜も神がそこで仕えられているから
王国は罰を受ける事があるのです
そのような素晴らしい場所が蔑視された時には
- 205 皆が喜ぶなら良いとしましょう
私たちが一人の敬虔で誠実な人を持っていることを
手近にそういう人間をもっていることは私は信じている
彼の不品行については知りません
- 206 サン・ミリアンの副院長は私たちの間で権限を失った

聖なる生活を送る完璧な心の持ち主です
彼は何らかの理由で土地を追い出され
これは私の考えでは神によって起こったことです

- 207 彼はこのことのために十分に準備された人だろう
非常に注意深く、その上とても規則正しい人です
私たちが見る限り彼は創造主に愛されている
彼によって修道院はその状態に戻るだろう》

- 208 《王様》、と彼らは言いました、《あなたは私たちに良い時に話されました
私たちは皆あなたに感謝し、喜んでいます
私たちはあなたが周到な助言をしていると思います
あなたが満足なら私たちは皆それを認めましょう》

- 209 彼らは全てこの助言を司教と話しました
司教はそれをととても良いものだと思いました
上下誰も反対しませんでした
それは町にも会議にも重たいものではありませんでした

- 210 修道院の修道士たちがそれを聞いたとき
かつてそんなに大きな喜びを感じた日はありませんでした
彼らは教会に行って神に感謝を捧げ
「汝神を我々は褒め称えまつる」⁵²⁾ を心を込めて唱えました

- 211 司教は彼に堅信の秘跡を授け、聖職に就けました

それから彼を祝福し、聖別しました
彼に椅子と杖と全てを与えました
修道院は喜んで彼に恭順を示しました

- 212 全ての儀式がおわると
祝福された修道院長は修道院にやって来ました
彼が修道院に足を踏み入れてはじめて
修道士たちは過去の苦難を忘れました
- 213 ドン・フェルナンド王が神に愛されますように
いつもそうだったように、彼は非常に博識でした
神は彼を一人ではなく、良い仲間と共に送りました
彼と供に多くの価値ある人間を送ったのですから
- 214 王は善人たちと位の高い者たち
司祭たちと参事会委員んたちと祝福された修道院長たち
いろいろの年齢の若者たちや老人たちを送りました
このような善行を行う王が祝福されますように
- 215 その人物は修道院に座らせられました
哀れな状態で困り果てて
しかし神がすぐにより良い状態に変えました
苦難が大きな幸福に変わりました
- 216 修道院はそれから初めて改革されました
それはすでに悪魔によって破壊されていました

彼は節度ある仲間で集団を作りました

彼が見た人々は重々しい人々でした

217 夜も昼もその人物は腐心していました

昼は労働し、夜は祈り

修道士たちに堅信を授け、彼らに良く教えていました

大人にも子供にも同じ食料を与えていました

218 修道士たちは善良で、彼らの牧者を愛していました

神は彼らの中に一致と愛を植え付けました

そこには悪い先導者が入る余地はありませんでした

その者はアダムとエバを主に背かせたのです

219 ドン・フェルナンド王が天国で安らぎますように

彼が見たいと思ったものを修道院からすでに見ていました

彼は新芽が自然についたのを見ました

ありがたいことに彼は自分のしたことを自分で後悔せずにすみしました

220 王と人々は彼らを助けました

ある者は教会で、他の者は食堂で

また他の者は祭服室で、他の者は寮で

また他の者は祭式で、他の者は答唱で

221 彼はよく整備された全修道院を

良く行き届いた教会を、よく整った修道院を

聖なる生活を送り、完璧な善良さを持った修道院長を見ていました

彼は心の中で言っていました：《神よ、あなたが褒め称えられますように》

- 222 私はあなたたちをこのことに長く留め置きたくありません
前に進んで動きたいのです
神が力をくれてこの仕事において前進したいのです
なぜなら私たちは他の多くのことを見なければならぬのですから
- 223 あなたたちが良く覚えているなら聞いたことがあるでしょう
修道院長の光であるこの修道院長は
どれだけの苦悩と逆境に耐えたでしょう
すでに苦難のあるところを通らなければならなかった時に
- 224 彼はいつも純粋で忍耐強く
謙虚でおとなしく、従順を愛し
言動において過ちを避けたので
神は彼に対して有り余る愛情を抱いていました
- 225 非常な苦しみを味わった王の中の王は
彼の為す事全てをよく見守っていました
彼が値する良き励ましを与えるために
彼がどんな褒美を得るのか示したかったのです
- 226 苦難を重ねた肉体を持つ栄えある証聖者は
非常に疲れていたので床で眠ってしまいました
幻を見てそれによって励まされました

未来の艱難について、過去の艱難についても

- 227 私たちが読んでいるように、それを書いた人々は
それを直接口と耳から聞きました
私たちは全部本当の事を言ったのを知っています
彼らは何も削らなかったし何も足しませんでした
- 228 彼は修道士のうち最も親しい者たち
修道院でもっとも高位の者たちを傍らにして
《友たちよ》、と言いました、《良き修道士たちに頼むようにあな
たたちに頼みます》
私があなたたちに言いたい事を話さないように
- 229 夢で私は恐ろしい場所にいました
海のように荒々しい川の岸辺に
そこに近ずくと誰でも恐れを抱くでしょう
何故ならその川は渉るに恐ろしく、すぎましいものだったからです
- 230 そこから二つの川が流れ出ていました、二つとも水量の豊かな川
でした
川は非常に深く、小な流れではありませんでした
一つは水晶のように白く
もう一方はぶどう酒よりも真っ赤でした
- 231 一番目の川には橋が見えました
それは一パルマ⁵³⁾ 半ほどの幅しかありませんでした

すべてガラスだけでできていて
実のところそれは恐ろしい通路でした

- 232 上質の布でできた白い祭服をまとして
橋の端に二人の貴人がいました
金の縁取りをした胸と袖と頭の出る上着を着ていて
彼らの服装を言葉では言い表せなかったでしょう
- 233 これら二人の非常に着飾った人のうちの一人が
手に二つの貴重な王冠を持っていました
うまく細工された金で出来ていて人がこのような素晴らしいもの
を見たことはませんでした
また人がこのような素晴らしい贈り物をしたことがありませんでした
- 234 もう一方の人は6倍も美しい王冠を持っていました
それは周りをおおくの宝石で飾られていて
太陽より輝いてました、それほど輝いていたのです
人は今までそんなに美しいものを見たことがありませんでした
- 235 二つの王冠を持った方の最初の人が私を呼んで
通路を渡って彼らの所に来るように言いました
私は通路は危険だと彼に言いました
彼は私に疑いを抱かず勇気を持って来るように言いました
- 236 私は狭かったけれど橋に足を踏み入れました
広い道のように私は橋を渡りました

彼らは私を喜んで迎えました
橋の真ん中まで私を迎えに来て

237 《修道士さん、あなたと一緒に私たちは嬉しい》、と白装束の人が
言いました

《あなたが祝福され、私たちに歓迎されるように
私たちはあなたに嬉しい知らせを伝えに来ました
それを言えばあなたは喜ぶでしょう

238 あなたが見ているこれらの素晴らしい王冠は
私たちの主があなたのためにとっておいたものです
手にしたら無くさないように気をつけてください
悪魔がそれらをあなたから奪おうとするでしょうから》

239 私は彼らに言いました：《皆様方、どうか私の話を聞いてください
なぜ私にそのようなことを言うことになったのでしょう
私はそんな生活を送っていませんし、そのような善行もしていません
ことの理由を私に明かしてください》

240 《良い質問をなさる》、とその使者は言いました
《そのことにはあなたにはっきり答えましょう
第一にあなたは純粋で良い修道士でした
そして服従に異を唱えませんでした

241 第二に私の聖母マリアがあなたのために獲得したのです
なぜなら彼女の教会があなたの導きを聖なるものとしたからです

彼女の修道院であなたは大きな改善をしました
彼女はあなたに非常に満足しているので、それを遣わすのです

- 242 非常に素晴らしい業の第三番目は
あなたの委託になるこの修道院によるものです
それは解き放たれた野獣のように過ちの中にありました
それをあなたは貧しさと争いから救い出したのです
- 243 もしあなたが今までの方策に留まっているなら
王冠はあなたのものです、それを得たと思いなさい
多くの苦しむ人々があなたによって休息を得るでしょう
その人たちは助言を受けることなく来て、助言を得て帰るでしょう
- 244 私にこう言うとうすぐ
彼らは私の面前から消え、私は何も見ることはできませんでした
私は我に帰り、手を上げて十字を切りました
私の気持ちの変化を神はご存じです
- 245 修道士たち仲間たちよ、心に気をくばりましょう
神と人に対して私たちは誠実でありましょう
もし私たちが神に忠実で正しければ
私たちは金よりも価値のある王冠を獲得するでしょう
- 246 わずかしか続かないであろうこの悲惨な世のために
決して終わることのないであろう別の世を失わないようにしましょう
富と貧困を誰が取り替えないでしょうか

それを求めようとする人は簡単に見つけるでしょう⁵⁴⁾

247 他のことをあなたたちに願います、それを贈り物として求めます
 私のこの告白が秘密にされるように
 次の時代まで顕れないように
 この肉体の牢獄からわたしの魂が出るまで》

248 スペインの光である聖ドミンゴ様は
 この幻の他に不思議な幻を見ました
 しかし仲間の修道士たちは耳にしていません
 なぜなら彼がそれらを心の奥底に隠したからです

249 神が彼に見せたこの幻によって
 彼の中にいかなる虚栄心も生まれることはありませんでした
 キリスト様に仕えるためにもっと熱くなっていました
 他の虚飾には目を向けませんでした

250 彼の肉体と悪魔はそれを十分望んでいました
 悪魔をその定席から追い出し鞫の中に入れることは
 できませんでした、そこから大きな争いが生まれました
 なぜなら太陽のすぐ近くにこの星があったからです

251 彼の仲間たちにした願い事に関しては
 それを明かさないようにとの願いには、彼らは正しく振る舞いました
 彼が生きていた間は彼らは良き秘密保持者でした
 彼らの父の密告者にはなりたくなかったのです

- 252 非常に高潔な聖証者である聖ドミンゴ様は
聖マルティノに比されるべきです
彼はマントに包まったキリスト様を見たのです
それは彼が難儀している貧者に与えたものでした
- 253 崇拝に価する高潔な聖証者
神はあらゆる方法で彼に名誉を与えようとしてしました
すべての儀式において彼に後を継がせようとしてしました
天国において彼により大きな栄光を与えるために
- 254 最初彼は家畜の牧者でした
当時よくある職業でした
そのあと文字を学び司祭に叙階しました
慎み深い穏やかなた魂の師でした
- 255 それから隠者になり非常に苦勞しました
人里離れた荒地に住み
悪事を見、多くの悪に出会いました
そこでどんな殉教者よりも多くの辛酸を舐めました
- 256 それから修道会に入り、従順を守りました
自分の事はすべて他人任せて
いかに善良であるかを示し、非常な忍耐をしました
あたかも悔い改めの苦行をしているかのように
- 257 修道院でも高位まで登りました

修道院の院長が彼に副院長の地位を与えました
 私たちはあなたたちにすべてを語りました
 彼がどんな火の中にあり、いかに焼かれたかを

258 ついに聖性に満ちたその良き人は
 完璧な威厳を備えていたので
 神は彼が修道院長に選ばれる望みました
 その選者は実際そこで過ちを犯しませんでした

259 彼が受けたこれらすべての名誉以外に
 神は彼に立派で完璧な他の恵みを与えました
 幻や優雅に着飾った人々を見るとか
 私があなたたちに読み聞かせた約束を聞くとか

260 さらにこれらすべての一連の恵みの他に
 神と聖マリアは彼に他の褒美を与えました
 彼の舌に予言する力を与えたのです
 なぜなら彼が疑いなく予言した事が知られているからです

261 私があなたたちに本当の事を言っていると信じてもらうために
 私はあなたたちにこの事に対する根拠を示そうと思います
 いかに彼が預言者で確かな事を話しかについての
 それによって彼の偉大なる聖性が確かめられました

262 聖ビセントは古い殉教者の名でした
 サビーナとクリステタは二人とも彼の姉妹でした⁵⁵⁾

皆神のため乱暴に殺されました

皆アビラ⁵⁶⁾に眠っていました、私はすこしの嘘も言っていません

263 ドン・フェルナンド王は常に善良さを愛しました

そしてそれを全うするために全霊を注ぎました

彼らをより高い聖性に送り込み

より立派な墓に入れようと思いました

264 その勇敢な戦士は良い方策を考え

彼らをサン・ペドロ・デ・アルランサ⁵⁷⁾に移そうと考えました

その良い修道院では彼らはより良い住まいを得て

何の疑いもなくより良く仕えてもらえたでしょう

265 ララ⁵⁸⁾の地の反対側の場所

アルランサ川の谷に

名誉ある館である修道院があります

それはサン・ペドロ・デ・アルランサと呼ばれています

266 そこには創造主の僕である^{しもべ}聖なる修道院長がいました

善良さを愛する人でドン・ガルシアという名でした

彼は修道院の長で主人でした

^{むれ}群は牧者がどういう人か示していました

267 幻で彼は為すべき任務を見ました

あの聖なる殉教者たちの非常に貴重な遺体を

古い墓地から掘り出して

彼の修道院に移す事でした

268 彼は王と話しました、王に神が良き休息をお与えになるように
王はフェルナンドと言う名で非常に価値ある君主です
良き分別と美しい行いの故に彼はそう判断しました
修道院長はそうすることに迅速でした

269 彼は司教たちと地方の長たち
修道院長たちと副院長たちと他の修道士たち
助祭たちと司祭たち、それから他の同類の人たち
そして高位の者たちの中からすべての長を招待しました

270 そこには騎士たちや大郷士たち
平民の女たちや男たちがいました
また色々な種類の行列が行われ
ある者たちは賛歌を、他の者たちは聖歌を歌っていました

271 人々は聖ビセント様の体を運びました
そして気高い人々である彼の姉妹たちのを
皆全能の神に賛歌を歌っていました
神は罪人^{つみびと}には常に慈悲を示されます

272 彼らはあの水量の多いデウエロ川を横切り
同じようにデウラトン川とエスゲーバ川⁵⁹⁾を渡り
旅館の近くのアランサに着きました
人々はその敷地にはまったく入らなかったでしょう

- 273 カニャス出身の聖ドミンゴ様は
美風に満ちた時に生まれました
そこで良い仲間を率い
類を見ないような行いをしました
- 274 人々は次の日の朝まで遺体を安置しました
ビンセンシオと彼の姉妹サビーナとリストタの遺体を
それから彼らをしっかりと、価値ある墓に入れました
それらのカスティリヤ人たちの間に大きな喜びがありました
- 275 これらの三兄弟を移すときに
苦しみを抱えた多くの病人たちが癒やされました
ある者は足を患い、他の者は手を患っていました
それで男女のキリスト教とたちは神に感謝を捧げていました
- 276 修道院長たち司教たちそして参事会員たちは
皆遺骨をそこから元の地に移しました
しかしシロスの修道院長とその近しい者たちは
それらに指で触ろうとさえしませんでした
- 277 良き修道院長が彼の修道院にやって来ました
仲間たちに大歓迎されました
彼は非常に明るい声で言いました：《汝ら賛美せよ》⁶⁰⁾ と
彼らは完璧な調子で言いました：《主は》⁶¹⁾ と
- 278 彼は修道士たちに言いました：《神にかけて、私の話を聞くように

司教たちや修道院長たちがあなたたちに挨拶を送ります
神にかけて、彼らの願いを実行するように
そしてあなたたちの祈りの中に彼らを受け入れるように》

279 《御主人様》、と彼らは言いました、《私たちがあなたを取り戻すとき
神に感謝するでしょう、そしてもっと嬉しく思います
あなたが私たちに言うこと以外にも、すべてに同意します
しかし一つの小さなことに不満があります

280 あなた方が背負ってきた聖なる遺骨について
求めたすべての人にそれを与えて
あなたたちの修道院に返しませんでした
私たちはこれを不注意だと思います》

281 この言葉に対して修道院長は真実を話し
立派に答えて、確かな返答をしました；
《友たちよ》、と彼は言いました、《この事について不満を持たな
いように
神があなたたちに何らかの方法で助けを与えるでしょう

282 もしあなたが神に忠実であろうとするなら
そしてその戒めを守ろうとするなら
神はあなた方に遺骨を与え、それを嬉しく思うでしょう
私はこの事においてあなた方は間違えることはないと思います

283 私たちの重大な罪が私たちからそれを取り去らないなら

あなたたちは聖なる遺骨を持ち満足するでしょう
あなたたちは立派でたくさんの遺骨を手にし
隣人の何人かから羨ましがられるでしょう》

284 彼らにこう言った聖ドミンゴ様は
来たるべきことを預言していました
それを預言していたのですが、彼には分かっていませんでした
この預言が彼自身に起こることだったとは

285 これを聞いた何人かの修道士たちは
この預言は何でもないと思っていました
もっと賢く慎重な他の者たちは
この言葉はむなしいものではないと思っていました

286 彼が生きている間は人々はすべてを忘れていました
しかし彼が死んで奇跡を見ると
この言葉を思い出し、その時分かりました
預言は現実のものとなったと

287 このことで我々は、皆さん、理解すべきです
我々が前に述べたことをあなたたちは理解できるということを
なぜなら彼は真の預言者で、神が彼に大きな力と
言動において大きな靈感を与えたからです

288 皆さん、神に感謝、我々はあなたたちに語りました
彼の聖なる生涯につて我々が知ることができることを

これから我々が信じる神の助けで
この書を終わり、他のを続けようと思います

第二部

生涯に起こした奇跡について

289 我々はあなたたちにもう一つの小さな書を始めたいと思います
そしていくつかの彼の奇跡についても話したいと思います
それは神が彼によってその生涯において示したいと思ったものです
その語り部は我々です、神が我々を導いてくださるように

290 カストロ・シスネロス⁶²⁾の出身の女は
小さい時はは MARIA という名でしたが
いい服を着て、金を用意して
仲間と共に市場へ出かけました

291 彼女は喜び全く元気に道に就きました
私は彼女が徒歩で行ったのか馬で行ったのかよく知りません
彼女は突然ひどい病に襲われ
木のように硬くなりました

292 彼女は両足の力を失い、動くことができませんでした
手の指は伸ばすことができませんでした
目は非常に曇っていて見ることはできませんでした
四肢に力が入りませんでした

- 293 そのため口がきけませんでした
口から多くの狂った言葉を発していました
彼女はどこにいるのかなぜそこにいるのか分かりませんでした
仲間たちは少なからず大きな苦悩を抱きました
- 294 彼女の目はぼうっとして口は歪んで
どちらの腕も曲がった棒のようになったので
屋内から戸口まで出ることができませんでした
彼女の友達はすべて彼女が死んだものと思ったかったです
- 295 彼女の知人はすべて心配して苦悩していました
友達も親戚も彼女にどうしたらいいか分かりませんでした
そのことを考えている人の心に浮かびました
温湿布で婦人が治るのではないかと
- 296 知人は彼女を聖なる証聖者のところへ連れて行こうと思いました
カニヤスの生まれでシロスの住人である証聖者のところへ
彼は彼女を見て心を痛めて
我らの主である神によって彼は彼女に健康を回復してくれるでしょう
- 297 皆にそれは良い助言だと思われました
人々は彼女を肩に担いで道に出ました
彼女は緑になったり蠟のようになったりしました
というのは苦痛が一樣ではなかったからです
- 298 人々は苦難の病人をシロスに連れて行き

彼女を証聖者の門の前に起きました
 生きているより死んでいるように見えました
 人々は彼女の命を危ぶんでいました

- 299 豊富な行いの価値ある証聖者は
 そのような事には軽快で陽気で
 すぐに敷地の外にいる彼らのところへ行き
 宿の中に入るように命じました
- 300 証聖者は宿のものに彼らの世話をするように命じ
 彼らは夕食と朝食にそこにあるものを食べました
 証聖者は創造主に願うために教会に入りました
 麻痺した彼女が健康を回復するように
- 301 証聖者は十字架上のキリスト像を仰ぎ、言いました:《ああ、主よ、
 あなたは天地の支配者で
 アダムを妻のエバと結婚させ
 この良き女からこの苦痛を取り去ってください
- 302 彼女がここに生きて着いた時から
 主よ、私は彼女が回復するようにあなたの慈悲を願っています
 そして苦難の彼女のこの仲間が
 帰る時には彼女の回復によって苦痛から解放されますように
- 303 非常な難儀をしている彼女のこの仲間たち
 彼らは悲しみ、苦しみ、疲れています

彼らがそこから慰めを得るあなたの恩寵を理解し
あなたの名を褒め称え明るく満足しますように》

- 304 その賢人は男たちを励ますために
省略して、祈りが長くなるのを望みませんでした
すぐに彼らの所に行って、夕食をふるまい
大きな慰めの言葉をかけました
- 305 《友たちよ》、と彼は言いました、皆心から願ひましよう
神にこのような苦しみの中にいる婦人のために
彼女に正気を戻し、視力を与え
彼女がこの苦悩を脱し、無傷になるように
- 306 叫びは心からの力の限りのもので
神に聞き届けられ、喜ばれました
彼女は目を開け、飲み物を請いました
この事は皆を非常の喜ばせました、大きな富よりも
- 307 聖なる神父はぶどう酒を取って来て
土鍋で温めるように命じました
それをコップに入れて彼自身が祝福し
神の名において彼女に飲むように与えました
- 308 それを口するや否や
婦人は回復し、苦痛は静まりました
彼女は床から出て、すぐに立ち上がり

言いました：《素晴らしい日です、神よあなたが褒め称えられますように》

- 309 彼女は高潔な証聖者の足元に身を投げ出し
《ご主人様》、と言いました、《そして神父様、あなたは良い時にお生まれになりました
あなたが創造主に愛されているのがよく分かります
というのはあなたの奉仕によって創造主がとても満足なさっているからです
- 310 私はあなたのお陰で回復したのを理解し知っています
あなたによって私は四肢と正気と命を回復しました
神のこの哀れみがあなたに感謝されますように
なぜならあなたのお恵みで床から出られたのを知っているからです》
- 311 良き神父は答えて、彼女を叱責しようとした
《友よ》、と彼は言いました、《あなたは話すべきように話していない》
あなたは神だけに感謝し、褒め称えるべきです
なぜならこの大きな苦しみから神はあなたを解放して下さったのですから
- 312 あなたを回復させた彼の貴重な力
それだけをあなたは褒め称え感謝すべきです
あなたは私にそのようなことを言うべきではありません

私はあなたそう言うのを望まないし、聞きたくありません

- 313 娘よ、祝福を受けて、あなたの家に戻りなさい
あなたは市場へ行くために外出したので戻る時間はあります
しかしできる限り罪を犯すことを避けなさい
この災いを生涯覚えておくべきです
- 314 聖なる神父は自分の修道院に留まり
創造主と聖マリアに仕えました
婦人は元気いっぱいに快活に道を行き
隣人たちは彼女と共に大いに喜びました
- 315 皆さん、私のことを少し我慢してくださるなら
このことであなたたちとお別れしたくありませんが
もう一つの奇跡についてあなたたちにお話したいのですが
良き神父のためにあなたたちは聞くべきです
- 316 オリア⁶³⁾ という名の女性がいました
話によると彼女はほんの子供でした
神に仕えることが彼女の喜びでした
他のことは全然頭にありませんでした
- 317 この女性は神に恋していました
他の浮いた望みはなにもありませんでした
少女は年端のいかない、しかし完璧な理性をもっていました
結婚するより盲目であることを望んでいました

- 318 彼女は歌よりも日々の祈りを
吟遊詩人よりも司祭たちの言うことを聞きくことを望みました
彼女は、もし許されるなら、祭壇の近くに横たわったでしょう
あるいは裸足で聖なる場所を歩いたでしょう
- 319 ラザロの姉妹を非常に羨ましがっていました⁶⁴⁾
彼女はキリストの足元に静かに座っていました
キリストの貴重な口の言うことを聞きながら
そのことでこの女の姉妹マルタは不満を抱いていました
- 320 少女は機が熟したのを見ると
育った家を捨て
患難の巡礼として聖なる証聖者のところに行き
着くとすぐ彼の足元にひれ伏しました
- 321 《ご主人様》、と彼女は言いました、《そして神父様、私はあなた
のもとに参りました
あなたの助言で生活の形を決めたいと思います
私はこの世の生活とすっかり離れてます
もしそこにもう一度戻るなら、わたしは自分を失うと思います
- 322 ご主人様、もし神がお望みなら、それがわたしの意思です
修道会に入りバールをまとい、貞潔のうちに生きます
狭い隅に貧しさのうちに横になります
神によってキリスト教が与えることに従って生きます》

- 323 聖なる神父は言いました：《友よ、神がお望みになるように》
あなたがそのような厳しい生活を維持できることを
もに達成できなくとも、あなたにとってもっとずっと有意義であ
るように
あなたの母親とそのような厳しい戒律の下に生きるよりは
- 324 《神父様》、と少女は言いました、《どうかお願いします
あなたにお願いするこのことがすぐに叶いますように
良識ある神父様、どうか遅らせないでください
このお願いを忘れ去ることのないように》
- 325 証聖者は少女が啓示を受けたのが分かり
手ずから彼女を黒いベールの修道女⁶⁵⁾にしました
それからわずか数日で彼女は苦行者になりました
小部屋に引きこもった時彼女は非常に喜びました
- 326 彼女は厳しい節制の良き生活から抜け出しました
そして慎ましく、誠実で、非常に忍耐強く
よく祈り、快活で、純粋な行動で
彼女は神に仕えることに全精力を注ぎました
- 327 悪技をよくはたらく不倶戴天の敵が
天の上で不幸を探し
恐れを抱くように婦人を驚かせました
彼女に悪い形相や非常に恐ろしい姿を見せたのでした

- 328 その確かな裏切り者は蛇の形をしていました
鎌首をもたげ彼女の前に立ちました
ある時は小さく、またある時は巨大に
ある時は非常に太って、またある時はやせていました
- 329 神が呪うものが彼女をさかんに攻撃しました、
彼女を恐れさせるために、多くの悪さをしかけました
創造主の愛する祝福された少女は
大きな苦難の中に生きていました、誰もあなたたちに違うことなど言うことのないように
- 330 話は同じ型で本当です
悪魔はアダムの連合いエバを襲ったのです
二人が禁じられた果実を口にした時
私たち子孫は未だに同じ悔悟の念を抱くのです
- 331 悩める修道女は他の事を知りませんでした
良き神父に便りをおくり、そのことを知らせました
彼はすぐそれが何なのか理解し
街道に出て彼女に会い来ました
- 332 彼が彼女のもとに着くと、彼女に告解させ
彼女の住まいに聖水を振りかけました
彼自身がミサを挙げ、彼女に聖体拝領させました
彼女の悪しき隣人は意に反して逃げ去りました

- 333 聖なる証聖者は自分の教会に戻り
神の僕である女性^{しもべ}は平和のうちにありました
裏切り者の蛇はひどい罰を受け
二度と彼女の周りに現れませんでした
- 334 私たちはこの事を聖ミリャン様から聞きました
彼はこのような奇跡を起こし、わたしははっきりとその事を読みました
彼はオノリオの家から悪魔を追い出しました
悪魔は犬よりも汚い行為をしていました
- 335 もう一つの美しい奇跡をあなたたちにお話ししましょう
それはこの証聖者が行ったもので聞くのも心地良いものです
退屈させるかもしれませんが、耐えるべきです
あなたたちはそれは書き記すのに良いものだったと言うでしょう
- 336 シロスの地方に、場所は私たちは知りません
一人の盲人がいました、彼についてあなたたちにお話ししましょう
どのように盲目になったのか私たちは読んでいません
書いてない事は私たちは断言しないでしょう
- 337 もし知りたいのならフアンという名でした
わかると思いますが非常な悲しみの中に生きていました
あなたたちが聞いたこの苦しみの他に
耳が非常に痛いので彼は壁を噛みました

- 338 良家の出だったのか農夫だったのか
 伝えられていませんしわたしも知りません
 しかしその事は置いておいて、一番大事な事を言いましょう
 聖なる証聖者の名誉になるようなことを
- 339 この苦難の盲人が連れて来られました
 前述の修道士の家へ
 確信し信頼していたので
 この苦しみから彼によって解放されるだろうと
- 340 サン・セバスティアンの戸口のところへ行くと
 その哀れな男は葡萄酒もパンも乞おうとしませんでした
 しかし言いました：《ああ、神父様、聖ミリャン様によって
 この私の苦しみがあなたの慈悲に与かりますように
- 341 神父様、私はあなたのいるところへあなたを探しに来ました
 どうかお出ましになるか私に入るようにお命じください
 神父様、私はこの場所を去る事は出来ないでしょう
 あなたがお命じになるまでは、留まるか戻るかを
- 342 苦難を抱える者たちの父よ、私を訪ねてください
 あなたの手を私に置いて親指で十字を切ってください⁶⁶⁾
 私があなたの手に接吻できさえすれば
 このすべての苦しみから回復すると思います》
- 343 聖なる神父は彼のいるちょうど内側にいました

この盲人のあげる叫びを聞き
出てきて何が望みか彼に聞きました
見えるようにと彼は言いました、他の事は望んでいなかったのだ

- 344 聖ドミンゴ様はそのような事に素早く
彼自身で盲人を導き、手を取りました
その完璧なキリスト教徒は盲人を家に入れ
日々他者に与える物が彼に与えられました
- 345 聖なる証聖者は一晩中祈りました
大帝である天の王に
この不幸な者に光を与えてくださるように
そして彼の耳から苦痛を取り去ってくださるように
- 346 朝になってミサを挙げると
その盲人は喜んで与^{あずか}りに来しました
その不幸な者は他の事を望むことは知りませんでした
神が目を開けてくださる事以外は
- 347 ミサの義務を終えると
修道院長はよく訓練され修道院の修道士たと共に
その盲人を来させると、すぐに来て
盲人は地面に彼らの足元にひれ伏しました
- 348 灌水棒⁶⁷⁾で彼に聖水を振りかけ
目に神聖な十字を切ると

苦痛と苦しみはすぐに治り
失っていた光がすっかり回復されました

- 349 皆様方、あなたたちは分かりました
彼は色々な種類の多くの病を持っていたことを
一つは盲目、非常な苦痛を伴う他の病
しかし彼はすべてから癒され神を賛美しました
- 350 聖なる神父は言いました：《友よ、あなたの道を行きなさい
良くなって行くことを神に感謝しなさい
罪を犯さないように注意しなさい、そしてバカなことはしないように
というのはもし再び過ちを犯せばそれはあなたの無気力のせいでしょう》
- 351 わたしたちがこの神父について知っている奇跡は多くあります
ある者は私たちが耳にし、他のものは読んでいます
どれから手を付けようか迷います
しかしどこからにせよ私たちは外すことになるでしょう
- 352 今回は他のものは避けて
あなたたちが生涯覚えているだろう一つを話したいと思います
いかにして彼が捕虜を逃し恵みを受けたか
それ故遠い地から彼に供え物のパンを送ってくるのです
- 353 当時はモーロ人たちが非常に近くにいました
人々はあえて道を歩こうとしませんでした

悪者たちは明け方に襲撃してきて
不運な人々を残酷に縄で縛って連れ去っていました

- 354 彼らは一度危険を冒して襲撃をかけたことがありました
この不信心者たちはソト⁶⁸⁾に向かい
その遠征で一人の若者を捕らえました
名をドミンゴといいました；私は何も省きません
- 355 彼らは若者を鉄のかせと重い鎖につなぎ
責め苦と飢えて酷い苦しみを与えました
彼にまずい昼食とおいしくない夕食を与えました
若者は与えられればからす麦のパンを喜んで食べていました
- 356 そのような手に落ちた者は実に不運です
キリスト教徒である場合は犬どもの為すがままにされます
言葉と行為で日々辱められます
冬は酷く、夏も良くありません
- 357 捕虜の親族は非常に苦悩していました
彼らは百の百倍のスエルド⁶⁹⁾を用意しなければなりませんでした
しかし支払う術はありませんでした
その金をどうしても作ることができなかったからでした
- 358 すべてかき集めても
身代金の半分にもほとんど届きませんでした
彼らは混乱して考えました

彼は投獄されたままでいなければならないと

- 359 彼らはある手段を思いつきました、神によって送られたものです
高潔な証聖者に頼みに行くことです
頼みを断られた人はいませんでした
証聖者が彼らを助けなければ、万事休すでした

- 360 彼らのうちの兄弟たちや従兄弟たちが
聖なる神父のところへ手に接吻するために行きました
彼らは言いました：《ああ、病者と健者の父よ
私たちの苦しみを聞いて、何か策をお授けください

- 361 私たちの縁者の一人がモーロ人に捕らえられていて
牢獄で酷く難儀しています
私たちは彼らと身代金を決めました
しかし私たちののは足りず、彼らの要求に届きません

- 362 良きお方、私たちはあなたに助けを求めに来ました
わたしたちはもうどこへ行ったらいいのか知るすべがありません
あなたは捕虜を取り戻すのにどのくらい必要かご存知です
そして神はそれを達成できる人にどれだけ感謝するか》

- 363 慈悲深い神父は泣きだしました
《友たちよ》、と彼は言いました、《もし私に与える金があるなら、
与えよう》
より良い使い道はないだろ

捕虜を取り戻すことに使う以上に

- 364 私たちはお金も金も銀も持っていません
家に馬が一頭いるだけです
私たちは喜んであなたたちにそれを差しげます
万能の王が足りないものを補ってくださいますように
- 365 私たちがあなたたちにあげられるものを今持って行きなさい
そうする間私たちはあなたたちに他の事を捜そう
私たちが求めるものをあなたたちに送ることになるでしょう
私たちは神を信じているので、囚人を取り戻すでしょう
- 366 彼らは事を用意するために道に就きました
彼を取り戻すのに馬を売るために
情け深い神父は祭壇のところに行きました
いつものように創造主に願うために
- 367 夜が過ぎ、明け方すぐに
神父は修道士たちと共に聖なるミサを挙げました
彼らは囚人のために祈りと叫びをあげました
神が彼を看守たちから解放してくれるように
- 368 大いなる聖性を持った神父の祈りは
聖なる慈悲を天に運び
天の王の耳に届き
その捕虜は幽囚から逃れました

- 369 繋がれていた鎖が解けて
しっかり閉まっていた囲いも彼を止めませんでした
囚人は鎖をつけたまま親族の元に帰り
彼自身がその事で驚嘆していました
- 370 実の父が彼らに約束した事を
三日目まで延ばしたくなかったので
看守だったモーロ人をお払い箱にしました
それ故彼は不正な金を受け取ることはありませんでした
- 371 人々は囚人から何時に逃げたのか知り
それがミサを挙げている時だと分かりました
聖なる神父がそれを計画したのだと知りました
これが彼が約束した助けだったので
- 372 囚人の仲間すべて、友達、親族
そして彼らと共に他のすべての人々
そこにいた皆が心に留めました
この証聖者がすごい奇跡を起こしたのだと
- 373 完璧な善である聖ドミンゴ様
彼は非常に信心深く、非常な慈悲の人
囚人を幽囚から救い出したので
神は彼に遺産として素晴らしい恵みを与えました
- 374 これらの功績は彼に大きな恵みを与えました

モ一口人たちに厳罰を与え
 牢を壊し、彼らをうたたねさせ
 捕虜たちを不幸から救い出すのです

375 このように聖なる、このように立派な功のこの証聖者が
 彼は伝説が語るより多くの善行を為したのですが
 私たちの魂を護り、肉体を保護してくださいように
 そして私たちが平和のうちに生き、争いを避けますように

376 彼は別の機会に大きな奇跡を行いました
 もし私の話を聞きたいなら、喜んで話しましょう
 思うに、あなたたちをあまり引き止めることはないでしょう
 そのために冷めた昼食を食べることはないでしょう

377 完璧な善人が良い菜園を持っていました
 それは上質のポロネギ⁷⁰⁾ がしっかり植えられた采園でした
 悪魔が土地の泥棒たちを動かし
 彼らが人々が寝静まった時に盗みに来ました

378 一晩中夜が明けるまで
 彼らは聖なる修道院の菜園を掘りました
 しかしポロネギもパースニップ⁷¹⁾ も手に入れることができません
 でした
 畑を耕したこと以外は

379 その善人は早朝錠前係を呼びました

《修道士の皆さん》、と彼は言いました、《私たちには働き手がいることを知ってください

彼らはまだ菜園を掘っています、確かめてください

食事を用意して、お金をわたすようにしてください》

380 聖なる聖証者は菜園にいる彼らのところに行って

《友たちよ》、と言いました、《あなたたちは良い仕事をしました

私たちの主である神があなたたちにそれを感謝されるように

来て私たちの食堂でお昼を食べなさい》

381 この者たちはこれを大いに恥じて

彼に跪いて鍬を投げ出しました

《ご主人様、御慈悲を》、と彼らは言いました、《どうか私たちをお許してください

多くの理由によって私たちは大きな罪に陥っています》

382 聖なる神父は言いました：《友たちよ、疑ってはいけない

今回のことでもあなたたちは十分な許しを得るでしょう

このあなたたちの苦しい仕事からあなたたちは支払いを受けるでしょう

しかしこのような夜の仕事はあまり行ってはいけません》

383 空腹が満たされて彼らは来た所へ帰って行きました

彼らは抱いた恐れを決して忘れませんでした

この事を聞いたすべての人は注目すべき事だと思い

このような情け深い人は見た事がないと言いました

- 384 彼のすべての奇跡を誰が語ることができるでしょうか
終わらせる事も休むこともできないでしょう
語られた奇跡の中にあなたたちは想像できるでしょう
この価値ある男にどれほどの功があったのか
- 385 もしあなたが奇跡の話を聞きたいと切望するなら
その聖なる証聖者の修道院に走っていきなさい
そうすればその目で奇跡を見てより良く知るでしょう
なぜなら創造主のおかげで彼は毎日奇跡を起こしているからです
- 386 そこであなたたちはそのことについて知っている多くの人を見つ
けるでしょう
若者でも年配者でも
そして彼らはあなたたちにそのようなそしてもっと良い多くの話
をするでしょう
それらを書き残しておきたい人は、書き手を探すように⁷²⁾
- 387 私はまだこれで引き下がろうとは思っていません
わずかですがまだ幾つかの奇跡をお話したいと思います
そのようなわずかなことでお恵みを減らしたくありません
最後に川下で溺れたくありませんから
- 388 有力なガリシアの伯爵が
ペラヨという名ですが彼は勇敢な男でした
視力を失い、障者者となっていました
盲人として生まれるべきではなかったのです

- 389 彼は聖人を次々巡り、巡礼を繰り返し
医者たを巡り歩き、薬を買いながら
虚しい治療に多額の出費をしました
そのためほどなく貧しくなるところでした
- 390 彼はこの証聖者が完璧な人間で
その行いにおいて神にとっても愛されていると知りました
しかしずっと前にこの証聖者を知っていて
癒してもらえると固く信じていたのです
- 391 彼はできるだけ周到に準備して
証聖者の家に連れて行ってもらい
非常に穏やかに彼に願い始めました
自分ために創造主をお願いしてくれるように
- 392 願ってもらえれば かたく信じていました
全能の王が助けを出してくれるだろうと
証聖者が非常に激しく泣き始めたので
人々全員をはらはらと泣かせました
- 393 高潔な証聖者は伯爵の苦しみをくんで
彼はそのような大貴族が非常に打ちのめさているのを見たのですが
いつもの熱意に立ち返り
私たちのため十字架に架けられたイエス・キリストに願いました
- 394 彼は祈り、祈りが終わると

彼の名高い泉⁷³⁾ から水を汲んでくるように命じました
彼自らその聖なる手でそれを祝福し
伯爵の両の目に一振りしました

395 天の力がすぐにそこに現れました
伯爵は失った視力を回復しました
彼の顔からすぐにくもりが晴れ
そのような晴れやかな顔を伯爵は全生涯でしたことがありません
でした

396 伯爵は十分な供物と十分で大事な贈り物を献上し
神と聖なる高位聖職者に感謝を捧げました
仕事がうまく行った者がするように
そして満足し喜んで領地に帰って行きました

397 この有名な人物はもう一つの奇跡を起こしました
長期間腐心し
長い断食をし毎日祈りました
肉体的にとっても大変な苦行をして

398 その男はゴミエル⁷⁴⁾ 生まれの善人でした
ガルシ・ムニョスという名で、ひどい病を持っていました
しばしばひどいテンカンの発作に襲われてたのです
その病を見た者でこの様なひどい状態を見た者はありませんでした

399 このテンカンが彼の心を侵し

彼から記憶と言葉と視力を取っていました
 判断力もなく、道理も分かりませんでした
 皆彼のためにとても苦しんでいました

- 400 この呪われたてんかんがこのように彼を苛んでいたのです
 彼はすべての感覚のうち一つも感じませんでした
 人々にとって最悪なのは変な顔をすることでした
 多くの人が彼には悪魔が憑いていると思うような

注

- 52) この部分ラテン語 Te Deum laudamus
 53) 長さの単位、約 21 センチで「手のひら」から
 54) 新約聖書マタイ伝 7：7、ルカ伝 11：9
 55) 三人とも殉教者
 56) スペイン中部の町
 57) スペイン中北部ブルゴスの町
 58) 上記の近くの町
 59) スペイン中部を流れるドゥエロ川の支流
 60) この部分ラテン語 Benedicite
 61) 上記の答唱の最初の語
 62) シロス（ブルゴス）の近くの町
 63) 同作者による聖オリアのことか
 64) ある修道会の裸足の修道女
 65) ベネディクト会の修道女
 66) 害を逃れる印
 67) 聖水を振りかけるため小枝を束ねたもの
 68) スペイン中部ソリアの町
 69) 古銭の名称
 70) 西洋ネギ
 71) セリ科の植物で根を食用にする
 72) 当時の習慣で奇跡物語を書くときは修道士のもとに行った

73) シロスの修道院の南東の隅にある有名な泉

74) シロスの南東にある町

参考図書・辞書

BIBLIORECA CASTRO OBRAS COMPLETAS DE GONZALO DE BERCEO

The Collected Works de Gonzalo de Berceo ACMRS Arizona 2008

Diccionario Medieval Español Martín Alonso Universidad Pontificia de Salamanca 1986

Diccionario de Castellano Antiguo Manuel Gutiérrez Tuñón Editorial Anfonpolis 2002

Tentative Dictionary of Medieval Spanish Lloyd A.Kasten and Florian J.Cody The Hispanic Seminary of Medieval Studies New York 2001

Diccionario de la Lengua Española Real Academia Española Espasa 2001

スペイン語大辞典 白水社